

ワンディレスポンスとCCPM

高知県土木部
ワンディとCCPMの組合せにより
18年度5つのテスト工事を実施

2007.5.8
「三方良しの公共事業改革」フォーラム

高知県建設検査課
高知県TOC研究会
夕部雅丈

ワンディレスポンスプロジェクトとは

現場を待たせないっ！

・発注者は受注者からの質問・協議について「**1日以内に返事をする**」1日で回答ができない場合は、回答時期について「**原則1日で返事をする**」

手順 (スモールスタート・合意形成)

発注者、受注者に対してワンディレスポンスについて **15分**
CCPM工程管理手法について **45分**の説明

ODSCシートの作成（受注者、発注者） **30分**

CCPM工程表の作成 **2時間（ここまでわずか3時間半）**

工程表の完成後は1～2週間ごとに、受注者から発注者に
変更になった最新のCCPM工程表をメールで送信

(途中と最後にヒヤリング・実行はまちまち)

テスト工事(1)

上: A社道路改良



下: B社道路改良

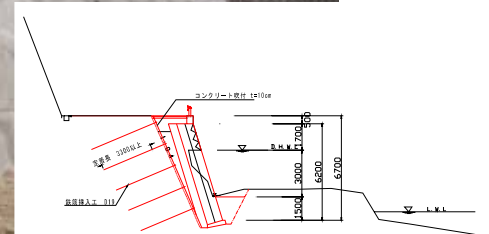


テスト工事(2)

上: C社道路改良



下: E社道路災害



D社は中止

H18年度 テ ス ト 工 事 の 概 要

概略契約
金額(万円)

工事概要・利益アップ率

会社

工種

工期

A社
A

道路
改良

205日

9,000

L=400m (土工、擁壁、排水、のり面、軟弱地盤)

工期短縮 利益率4%アップ

B社
B

同上

150日

6,000

L=100m (逆T形擁壁、ブロック積擁壁、盛土、法
面工) **利益率9%アップ工事評**

定80.1点

踏掛版追加変更

C社
B

同上

200日

9,000

L=170m (補強土壁A 1100m²) **50日短縮**

利益率10%アップ

1千3百万

円追加増額変更

D社
C

急傾

160日

2,000

もたれ式擁壁L=30m、仮設工 **説明と理解不**

足で効果なし

E社
B

災害

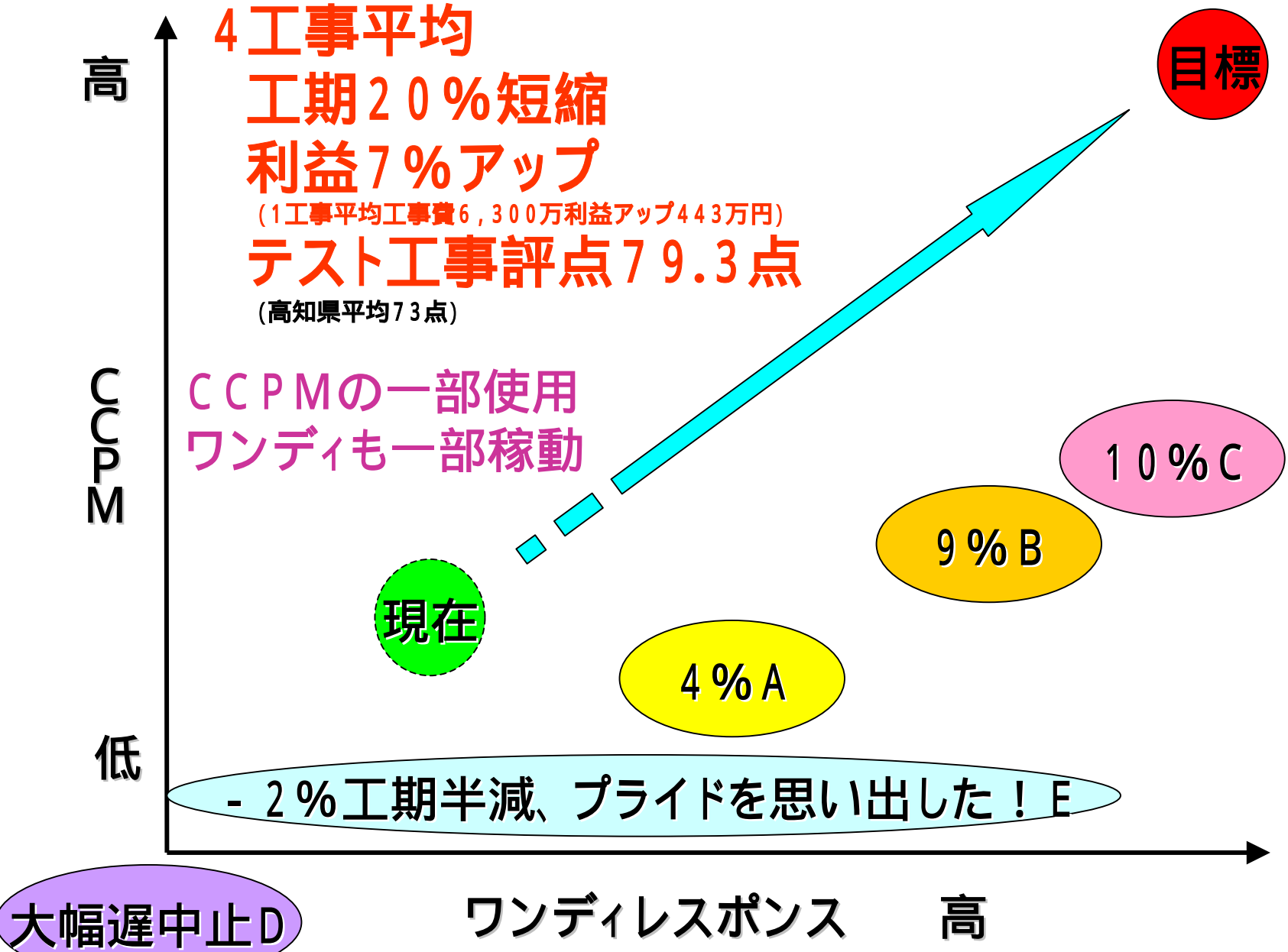
115日

1,200

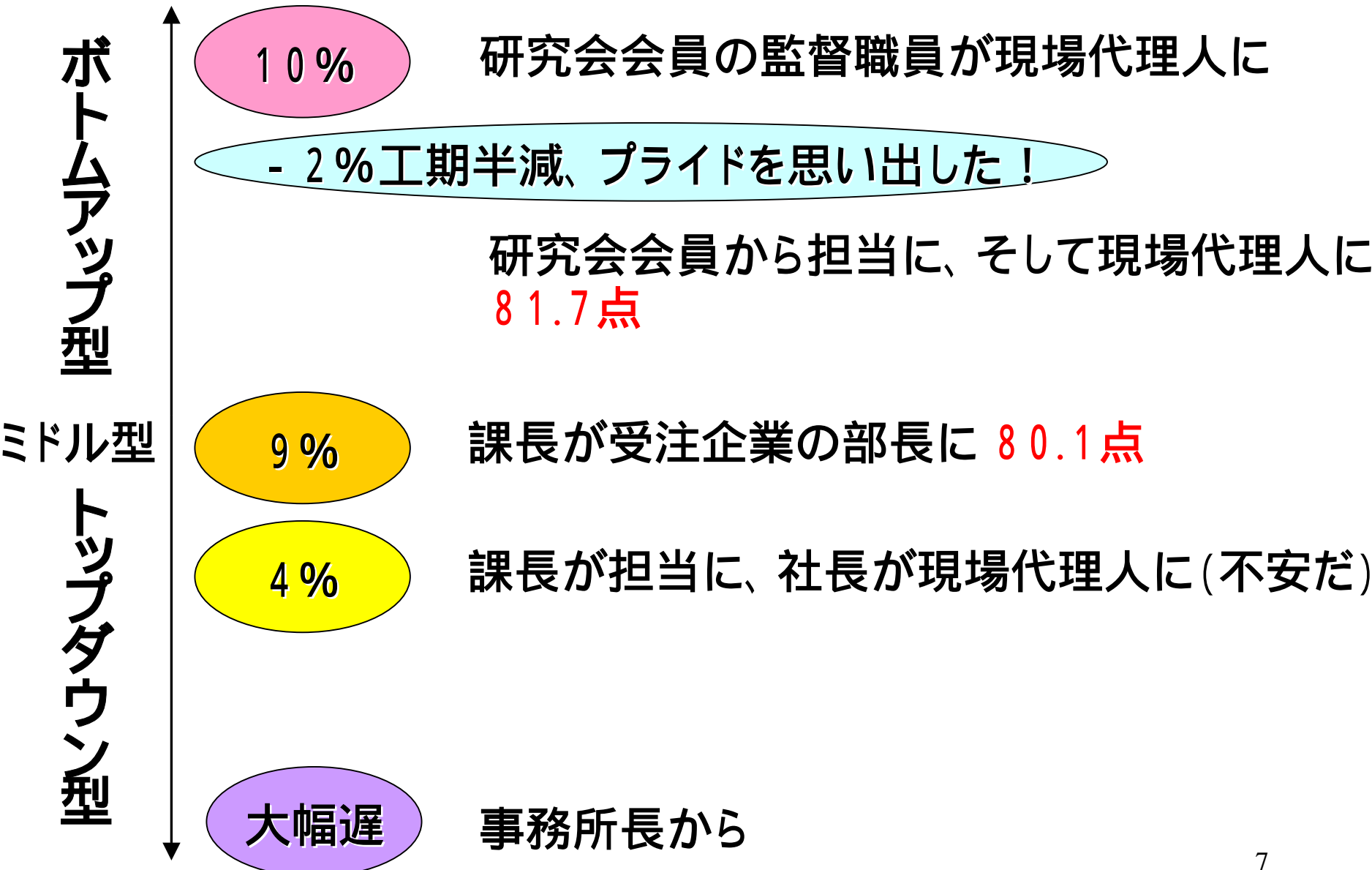
護岸ブロックL=15m、鉄筋挿入 **81.7点**

-2% 実質工期50%で完了

4つのテスト工事のワンディレスポンスとCCPM、利益率アップの関係



ワンディパターン別成果 (やる気の問題・予測能力)



ワンディレスポンスのODSCシート

<p>目的 (O)</p>	<p>受注した工事で、確実に儲けてもらう（財務） 工事を早く仕上げてもらう（改善） 高い工事成績点を取ってもらう（高品質）（顧客） 若手の教育充実（技術力の伝承）（育成・理念） 業務プロセスの改善（段取り、先手管理、リスク管理） 工事関係地域住民の満足度の向上（工事負荷の軽減） 税を納めてもらう（三方利益）（社会） 災害発生時にも対応できる経営体力を維持してもらう 工事の意味付け、価値認識を高めてもらう</p>
<p>成果物 (D)</p>	<p>工期短縮 受注者の利益アップ 税込アップ 優良工事表彰</p>
<p>成功基準 (SC)</p>	<p>工期短縮10% 工事成績80点獲得 利益率5%アップ 知事表彰を受ける</p>

「三方良し」のODSC

ワンディ両者の感想(1)

- ・監督職員にワンディを話すと(両者の感覚の違い)
「そんなことあたりまえだよ！とっくにやってるよ！」
業者さんは「ワンディで格段に対応が良くなった！」
- ・現場代理人の感動話 (10%利益アップ工事)
監督職員が昼に愛妻弁当を持って来て
少し砂埃が舞う現場で、一緒に弁当をひろげ
これからの段取りを話してくれた
こんなことははじめてだ！
嬉しかった！と「うるうる」感動を話してくれました
(聞いていたこっちも「うるうる」きました！！)
生きててよかった！やっててよかった！と感じる瞬間！！！！
- ・バッファーを見て「これって困っている現場があれば
助けられるんだ！」(全体最適を考える社員になった)

ワンディ両者の感想(2)

現場代理人

初めは現場が進み過ぎて目の回るような忙しさだったのが
先手管理で**余裕**ができ今年は労働局**安全対策指摘0**達成

監督職員

- ・あらかじめ起こりそうな現場の問題を教えてくれるので、
考える時間的余裕があり、対応が楽だった
- ・これまでの進捗報告では数値だけで現場の状況は分からなかったが、CCPMでは工程表がそのまま報告されてくるので現場状態が把握でき、
段階検査の段取りが付きやすい
- ・まったく効果なし！の職員(実は、)
嬉しい話と困った話

現場代理人

(よかった事)

- ・工程を組むのが楽だ(キヤドで3日が2時間で)
- ・作業員さんから工夫提案が出だした(賃金問題発言あり)
- ・当初工期で1千万以上の変更追加工事を受注できた
- ・余裕が出来、次のことや目気配り、気くぱりが出来る

(これから)

- ・複数の現場で調整しながらやってみたい(ソフト複数購入)

(改善点)

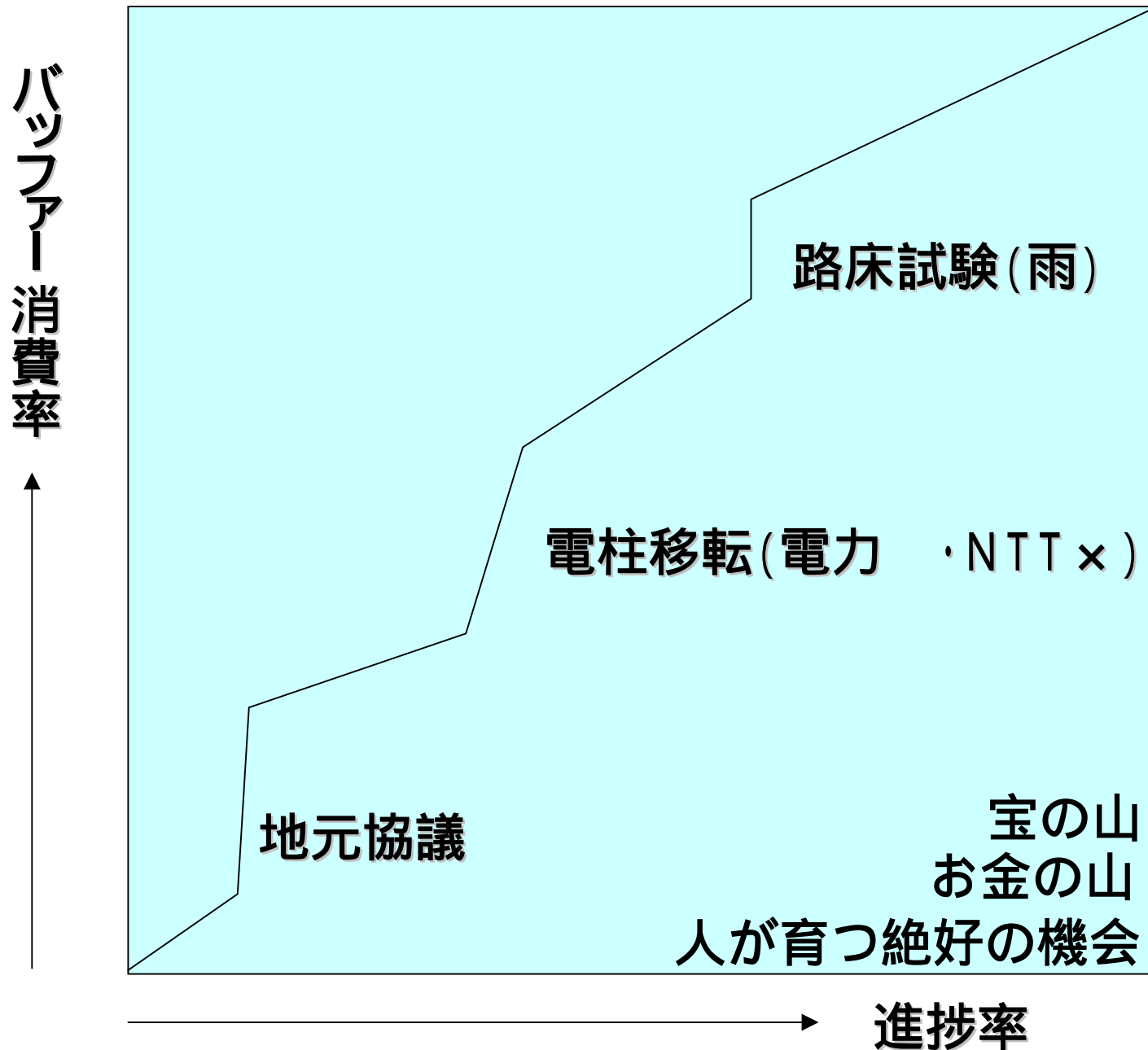
- ・複数のタスクが同時にやれるので、現場が進みすぎて測量、丁張り、写真整理が間に合わず、下請けさんをもう一班入れないと間に合わなくなった(並行作業可)

(業務プロセスを変えること！今までの考え方を変えること！)¹¹

工事部長談

- ・現場代理人が一人で抱え込まないようになった
- ・コミュニケーションが楽にできるようになった
- ・若手に責任感ができた
- ・報告が早く来るようになった
- ・技術者どうしの連携がうまく取れるようになった
- ・現場代理人が早く育つ
- ・CCPMで進捗の遅速が、何が原因だったかが、後でよくわかる(会社の財産になる)

会社の財産となるCCPM工程表の軌跡 (成功のポイント叱らない)



発注者 受注者ともに問題や課題が
山積しており、それが表面化する
つまり、改善 改革のチャンス到来！

ここで、体験談発表(1)

**田中建設株式会社 取締役 田中覚
(次期、経営者候補)**

本工事の特徴

ベテラン部長と新人現場代理人の組み合わせで技術と経験の伝承の基本形

本工事のODSC

目的	成功基準
工期を短縮させる	利益率 以上
利益を向上させる	11月末完成検査
品質の良いものをつくる	工事評点80点以上
現道の交通を常に確保する	無事故での工事完成
若手現場代理人大川啓和の技術の向上	地元のクレームゼロ
大型車両の通行しやすい道路を造る	利益率 以上出たらボーナス
	工事評点80点以上出たら社員旅行
成果物	マネジメント・リクエスト
自主管理基準を80%以内で管理する	地元との調整役(部長)
現場代理人大川啓和が一人前になる	
綺麗な構造物	リスク
出来上がりの良い工事完成図書	降雨時の仁淀川の増水
	支障物件(電柱移設)
	15

CCPM 工程会議 (8月)

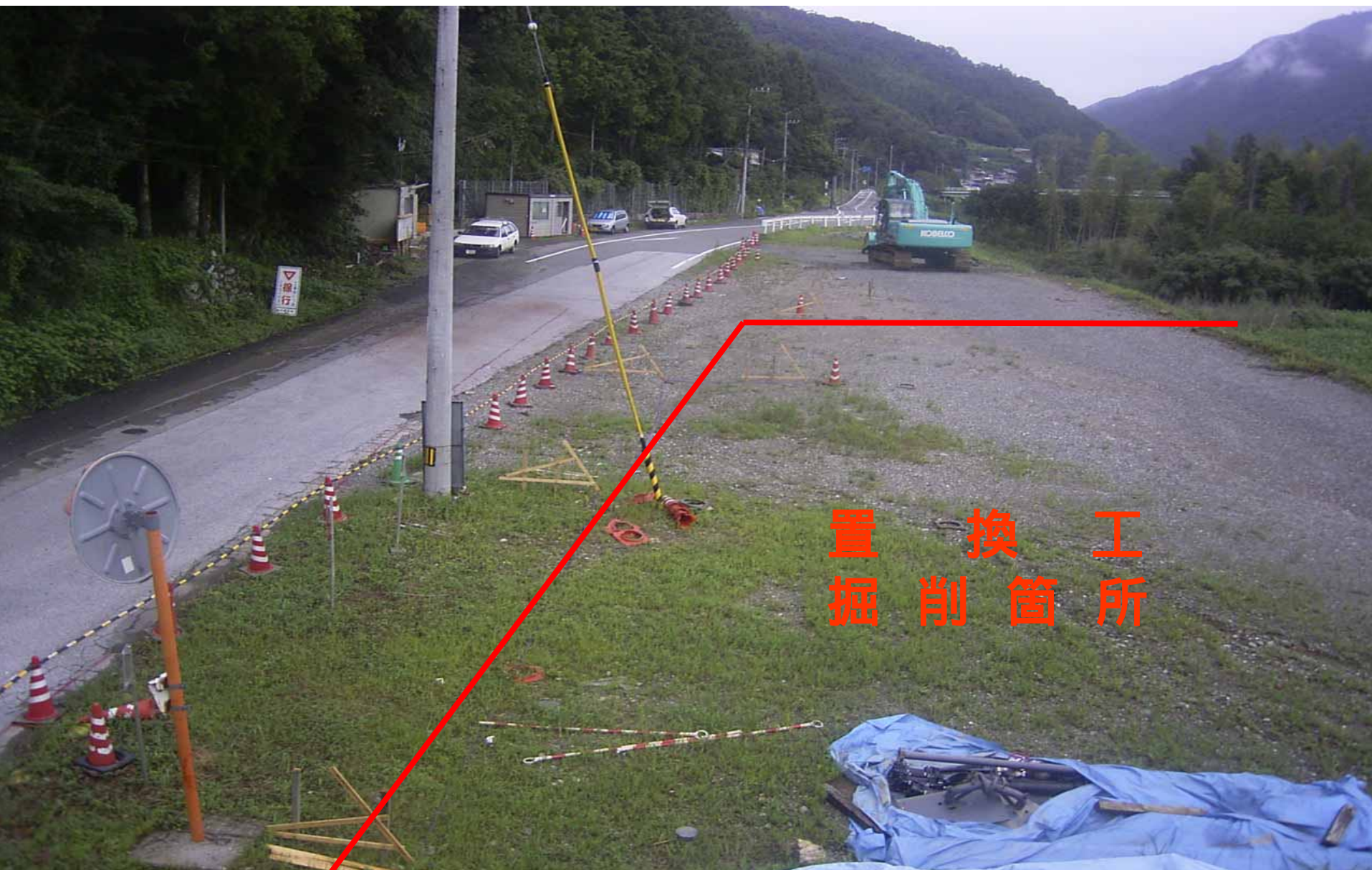
現場代理人
大川啓和

ベテラン部長

工事名 道交第2113-2-3号
CCPM
工程打合せ
H18.8.21



支障物件(電柱・電柱支線) 仁淀川右岸



置換工
掘削箇所

置換工(碎石敷均し状況)



2006.1.17 完成検査報告

お世話になります。完成検査も無事終了しました。
検査員にCCPMの報告書を提出し、
現場代理人と一緒に説明さしてもらいました。

検査員は、CCPMをやっている現場の検査が
初めてだったようで、期待してたみたいです。

工事評定点は80.1点で優良工事の対象となり、
当初の利益目標もクリアして、
2月に社員旅行にいけるようになりました(笑)。

夕部さんや宮崎さんにも良い報告ができ良かったです。

(注:宮崎は、高知県TOC研究会のCCPMテクニカルリーダー)

完成写真(逆T形擁壁、ブロック積擁壁、盛土、のり面工)



次は別の若手で、和気藹々とCPM工程会議をやりたいです



現場代理人
大川啓和

ベテラン部長

自分達の夢をODSCを使って

仕事にのせると

そこに感動の物語が生まれ

回り(世界)に波紋のようにひろがっていきます

それがワンディ・CCPMの意味であり価値なんですね

建設業界の経営環境は？

- ・一般競争入札、総合評価方式などで、不確実・不透明な経営を強いられている！
- ・保護されて、棚から牡丹餅経営から、予測不可能な経営へ脱皮を強いられている！
(最強の経営力が必要)
- ・災害発生、南海地震対応として、各地域には、優良な建設業者が絶対不可欠！
- ・無駄、無理なことが許されない！どの産業よりも厳しい！
- ・偉大で崇高な企業経営が求められている！

(命綱なしの綱渡りともいえる！)

CCPMは

現場が生き活きと勝手に動き出すもの

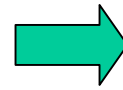
経営者は、危機にならない限り
現場のことを安心してまかせられる

厳しい経営環境に、ほぼ集中できる

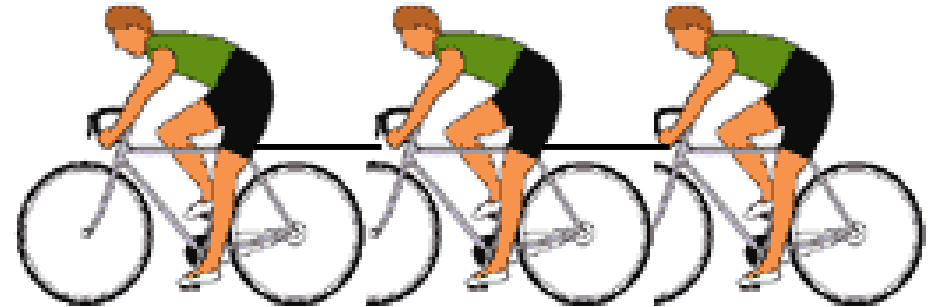
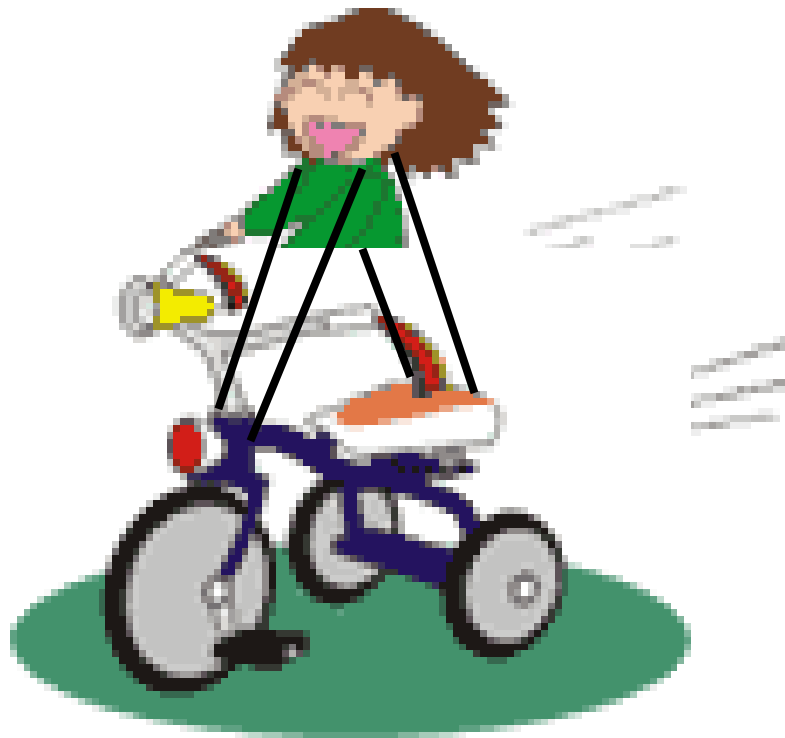
今こそ、
国づくり三大職業(医師・教師・建設業)
努力によって栄光を勝ち取り！
誇りを取り戻そう！

国を造り！国を守る！ 飛躍のチャンス！

今までの仕事の仕方 (保護産業としての建設業)



CCPMの仕事の仕方



自分で目標設定・スピード
操作を体感・チームで協働

仕事を創造型にする
(知的業務)

だから面白い

だから感動が生まれる

安定、でも、親(上司)
の監視化や規則という
シートベルトに縛られて
がんじがらめ

おわりに

高知県TOC研究会 2005.7 立ち上げ

1年目は毎月の勉強会

宮崎市第一建設さんのなぜなぜ合宿に年休を取り参加
(快く受け入れてくれた第一建設さん、ありがとうございました！)

勉強会も年休・私費でやっていることを、岸良さんが知り
セミナー講師などをこれまで7回(県職員・建設業者に)

2年目は実証実験に着手

高知県土木部の「なぜなぜ合宿」など

ここまで導いてくれた岸良さんに感謝します

当初ワンディのODSCに上げた、職員への知事賞誉と
テスト工事の知事表彰も射程に入ってきた！(夢実現⁶)